



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

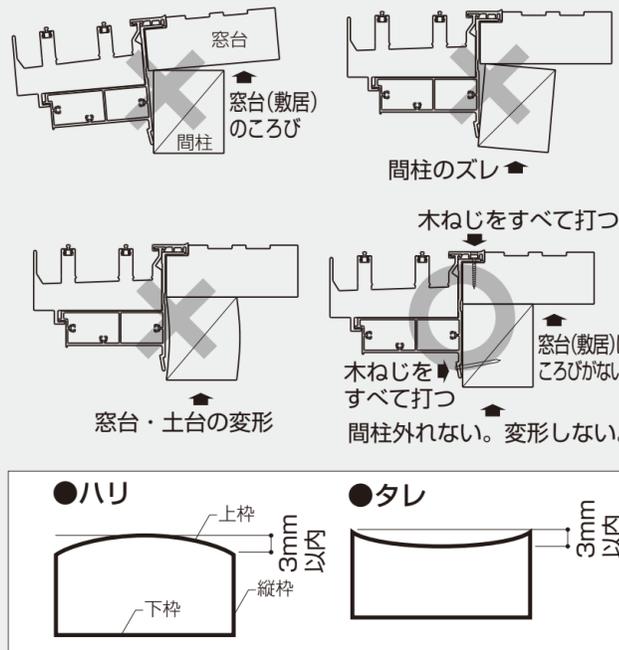
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

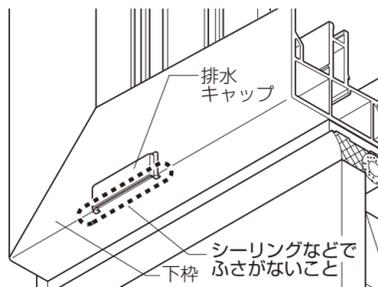
▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、最大で240kg(ガラスなしで60kg)となりますので下記事項をお守りください。
 - ・下枠が垂下がないように、必ず開口部を45×100mm以上の窓台(敷居)、30mm以上の間柱で作ってください。障子の外れや気密・水密性能を損なうおそれがあります。
 - ・製品を運んだり取付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- サッシ枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。障子落下・開閉障害の原因になります。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず召合せ気密ピースをかけてください。障子落下のおそれがあります。
 - ※召合せ気密ピースは外れ止めを兼ねていますので、「3 召合せ気密ピースの調整」を参照してください。
- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・枠と躯体の取合い部は、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。(参考納まり図参照)
 - ・外壁施工後、躯体と製品の取合わせ部は、必ずシーリングしてください。(参考納まり図参照)



■取付け上のお願い

- 樹脂の表面はキズつきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
- 樹脂部材をねじ止めする場合は、絞めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
- 枠をスクリー釘・木ねじを使用し、確実に固定した後、障子を建込んでください。
- 専用内窓を取付ける場合は、専用アタッチメント(別途有償)を取付けてください。
- コーキング材はシリコン系・変成シリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。



●窓まわりのシーリング材は右表のシーリング材を使用してください。右表のシーリング材以外を使用されますと、表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
 ※右表のシーリング材は、弊社試験確認済みの物です。

メーカー名	製品名	種類	プライマー
オート化学工業(株)	オートイクシード15+	1成分形ポリウレタン系	OP-2019
	オートン超耐シーラーTF2000		OP-2531
サンスター技研(株)	オートンサイディングシーラント	2成分形ポリウレタン系	プライマー-US-3
横浜ゴム(株)	ペンギンシール2550TypeNB		UH-01NB

- 室内への漏水の原因となりますので、排水キャップの排水穴はシーリングなどでふさがらないでください。
 ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

■ねじ一覧表

■半外付

①	②	③
スクリー釘 φ3×38	皿木ねじ φ3.8×38	丸木ねじ φ4.1×56

■外付

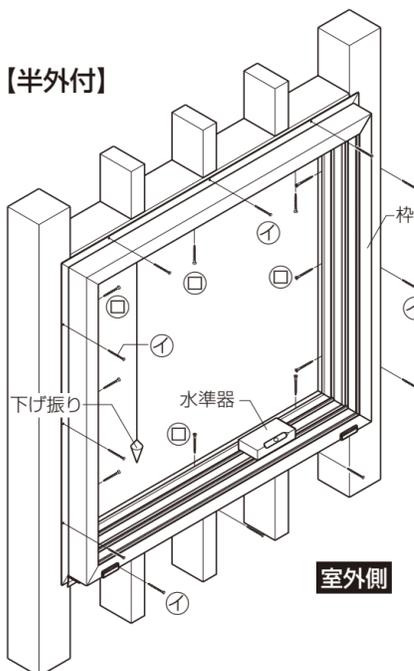
④	⑤	⑥
スクリー釘 φ3×38	丸木ねじ φ3.5×32	下枠アングル ねじ

■取付け順序

1 枠の固定(半外付)

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

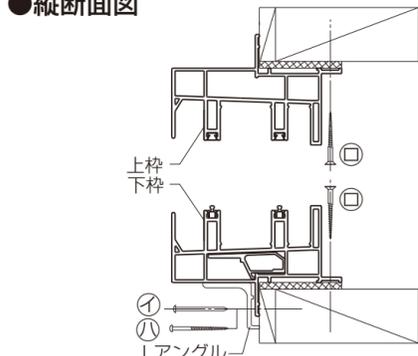
【半外付】



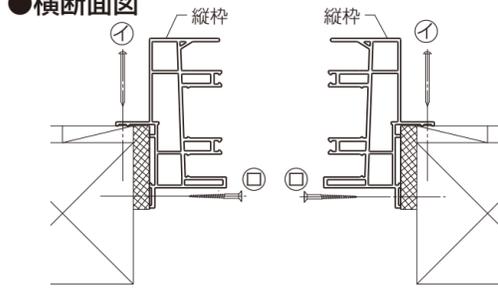
■取付け詳細

- 障子を建込む前に、必ず②ねじ(皿木ねじφ3.8×38)および①釘(スクリー釘φ3×38)にて枠を固定してください。又、障子重量の重いサイズの場合のみ、下枠にLアングル(サッシ枠に同梱)も合わせて④ねじ(丸木ねじφ4.1×56)にて取付けてください。固定前に障子を建込むと下枠が垂下がります。
- 躯体とサッシにすき間がある状態で取付けると、枠がねじれて気密性が悪くなります。すき間がある場合は必ずかい木を入れてください。

●縦断面図



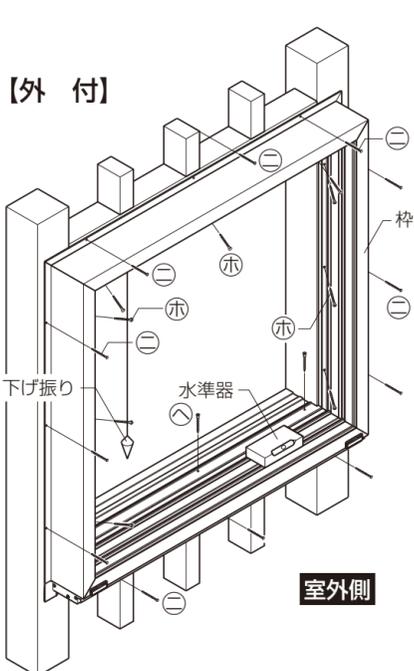
●横断面図



1 枠の固定(外付)

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

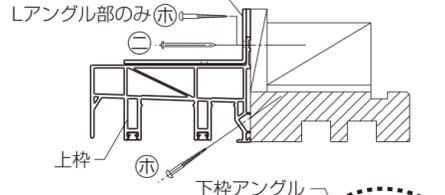
【外付】



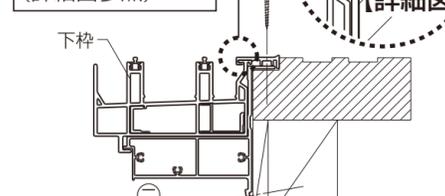
■取付け詳細

- 障子を建込む前に、下枠のアルミ補強材を②釘(スクリー釘φ3×38)で必ず固定してください。固定前に障子を建込むと下枠が垂下がります。

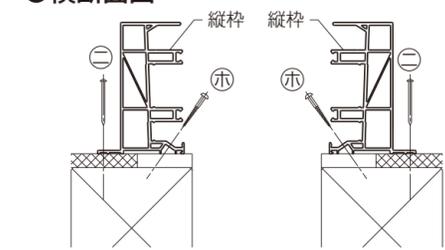
●縦断面図



※下枠アングルは確実に取付けてください。(詳細図参照)



●横断面図

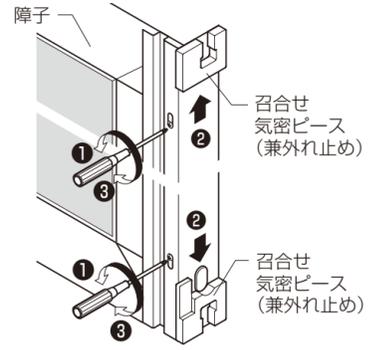


2 障子の建込み

● 枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

3 召合せ気密ピースの調整

※ 建付け調整が必要な場合は、建付け調整完了後に召合せ気密ピースの調整を実施してください。
 ① プラスドライバーでねじをゆるめ、召合せ気密ピースを上部は上に、下部は下に動かし、障子がけんどんで外れない位置で固定してください。
 ※ 召合せ枠の上下に付いている召合せ気密ピースが外れ止めの機能を持っています。
 ② ねじを締付けます。
 ※ 外障子・内障子両方行ってください。



▲ 注意

● 必ず召合せ気密ピースをかけてください。障子落下のおそれがあります。

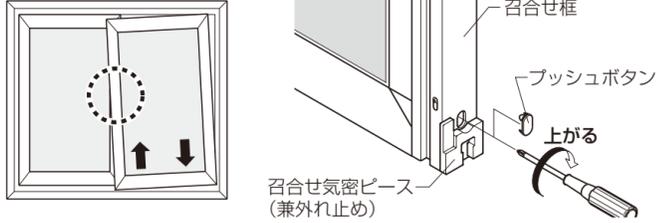
■ 建付け調整

※ 建付け調整を行わないと性能を損なうおそれがあります。

【戸車調整】

※ 障子の召合せがくるったとき。

- ① プッシュボタンを外します。
- ② プラスドライバーで中の戸車調整ねじを右に回すと障子が上に上がります。
- ③ 上下の召合せ気密ピースを調整して枠のすき間をなくします。
 (「3 気密ピースの調整」を参照)

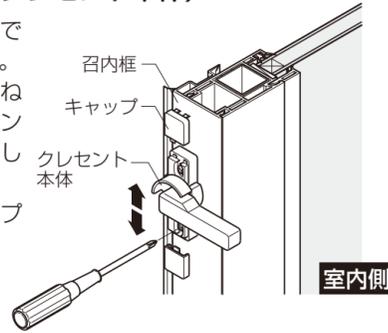


【クレセント・クレセント受け調整】

※ クレセントがうまくかからない。閉めるときに障子のガツツキを感じる。

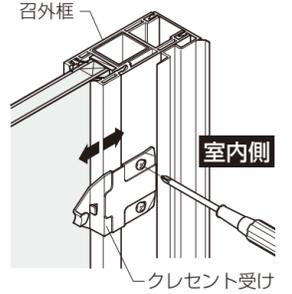
● 上下方向の調整(クレセント本体)

- ① マイナスドライバーでキャップを外します。
- ② プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ③ ねじを締めてキャップをします。



● 左右方向の調整(クレセント受け)

- ① プラスドライバーでねじをゆるめて、クレセント受けを左右に動かします。
- ② ねじを締付けます。

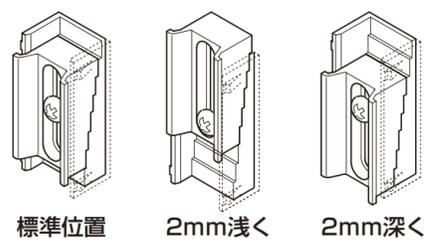


【戸当たり振止めの調整】

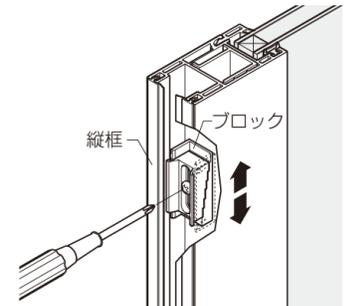
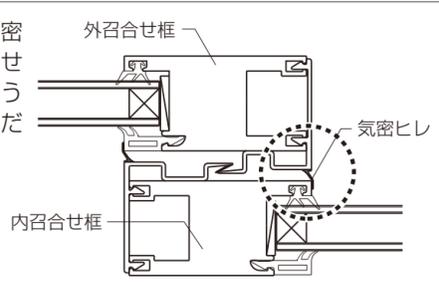
※ 外召合せ枠の気密ヒレが内召合せ枠側面に当たらないとき。

- ① プラスドライバーでねじをゆるめて、ブロックを上下に動かします。
- ② ねじを締付けます。

■ 戸当たり振止め調整位置

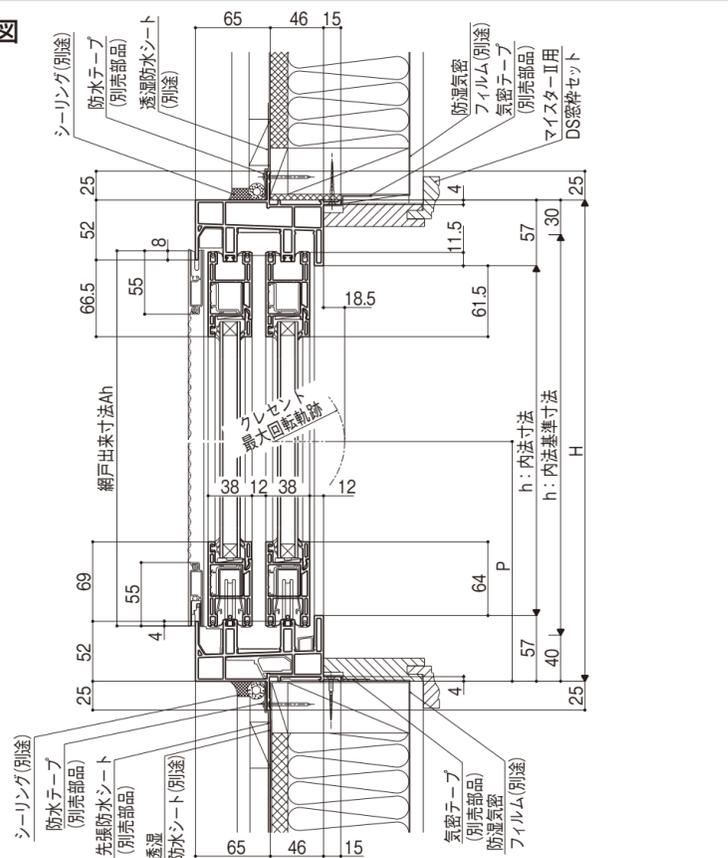


● 外召合せの気密ヒレが、内召合せ枠に当たるように調整してください。

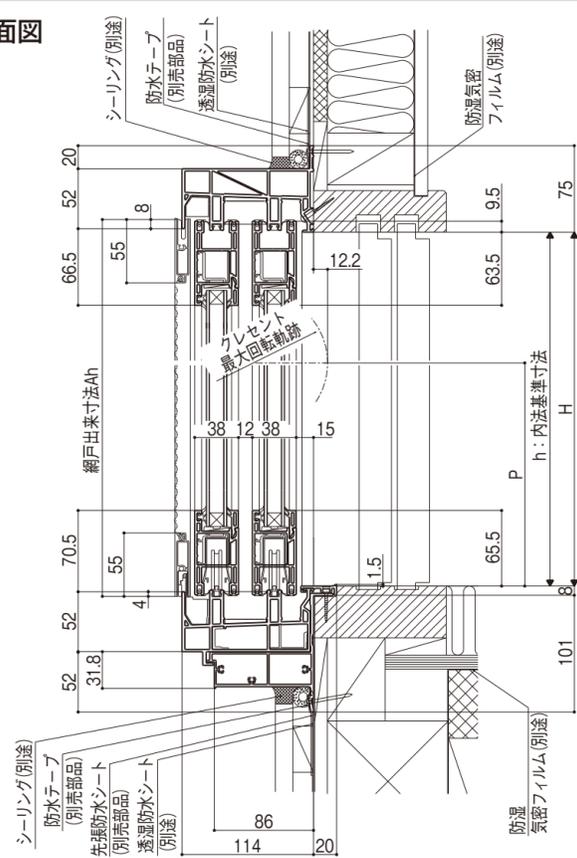


■ 参考納まり図

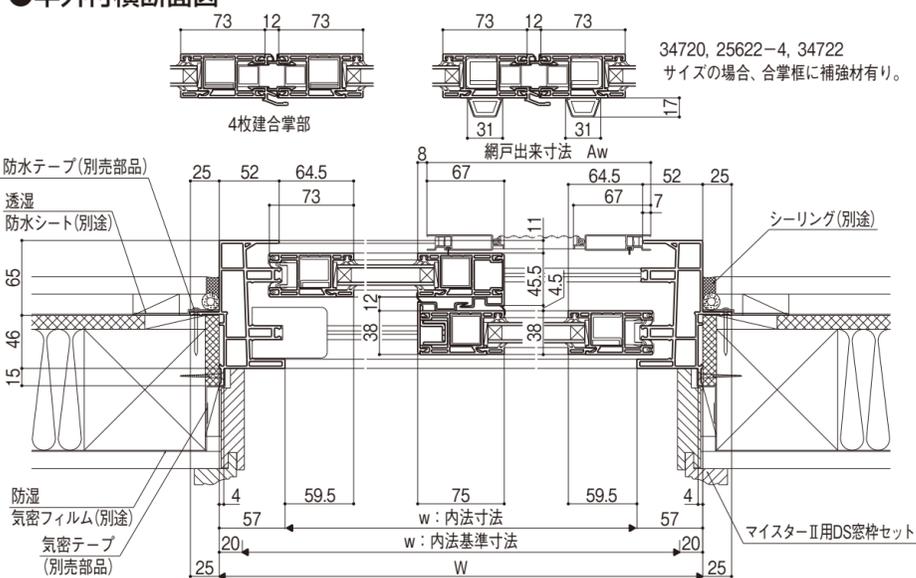
● 半外付断面図



● 外付断面図



● 半外付横断面図



● 外付横断面図

